

## はじまりは、 架空のアウトドアブランド 立ち上げから

当社は70年以上、板金事業をメイン業務としてきました。現在は、アウトドア製品の開発及び販売を行う「トリパスプロダクツ事業」にも力を入れています。

この事業は、ものづくりが好きな社員数名でスタートしました。板金事業以外で何か面白い事業を行いたと考えたところ、幾つかの候補のうち、最終的に「板金屋さんがアウトドア商品を開発し、販売したら面白いのではないか」となり、架空のブランドを立ち上げました。架空のブランドでしたが、2018年の北洋銀行主催「ものづくりテクノロジー」に出展したところ、反響がすごくあり、これで手応えを掴み、2019年4月20日に「トリパスプロダクツ」を立ち上げました。テーマは「タノシメタル」です。

立ち上げ当初は販路なども無く、地元のお店数店に置かせて頂く程度でしたが、発売から1週間程で全国のお店から「扱いたい」と沢山のご要望を頂き、現在全国50店舗以上のお店で展開しています。SNSなど時代に即したマーケティングとブランディング、何より金属のプロ集団がこだわり抜いた製品が新しい価値観として認知された結果だと思っています。

我々のワクワク感と技術力の結晶は唯一無二をモットーに、ユーザー様に永く愛用されることを願っています。



製品開発風景



ブランドイメージ

## 成功体験を社内で 共有することを大切に

「トリパスプロダクツ」の立ち上げを数名で行ったこともあり、当初会社全体に我々の熱量が広がっていなかったように感じていました。

ですが、徐々にアウトドア好き社員などを集めてキャンプをしたり、工場前で焚火をしながら実験をしたり、社内の意見も活発に取り入れ、今では製品は全社のアイデアと技術力の結晶だと感じています。

また最近では社内で定期的に「ものづくりプロジェクト」を開催しています。すると40～50名ほどの社員が参加したいと意欲を示したので、6～7人を1チームとして、プレゼン力や試作品のレベルを競いました。

「熊の檻」や「コロナ対策関連商材」の2つを開発するとともに、チームで1つの試作品を作り上げたことで、製品開発の苦労と楽しさを広く共有することができたと思います。

また、社内の意識改革が図られ、ゼロから考えることで、職人としてのレベルアップにも繋がり、本業である板金事業にも良い影響を与えることができました。



## 「GURU GURU FIRE」誕生

令和2年度の北海道新技術・新製品開発賞ものづくり部門開発奨励賞を受賞した「GURU GURU FIRE」は、精密板金加工技術を活用し、黒皮鉄板をレーザーカットで切り出した15枚の平面ピースがコンパクトに収納でき、組み上げるとデザイン性に優れた立体的なフォルムになる焚火台です。

デザインは、機能を先行して考え、無機的な形から、有機的な曲線へと変更していきました。当社には、工場がすぐ隣にあり加工できる強みがあります。何度も試行錯誤を繰り返して、現在の形にたどり着きました。

商品のネーミングについても誰もが覚えやすくインパクトを与えること、その姿とのギャップを心がけました。また、「トリパスプロダクツ」のロゴやWEBも、ビジュアル的にインパクトを与えるため、多くの時間をかけた部分です。ここは道内企業と一緒にあってワイワイ楽しくやらせて頂きました。



GURU GURU FIRE

### 会社概要

【所在地】(本工場)札幌市清田区北野2条3丁目11-1 (石狩工場)石狩市新港西3丁目750-7

【TEL】011-881-5211 【FAX】011-883-6130

【事業内容】板金加工、機械加工、塗装の一貫受注加工、アウトドア製品の開発及び販売等

【従業員数】77名

【設立年】1961年

【URL】<https://tripath.co.jp/>

<https://products.tripath.co.jp/>